

<特別決議>

「残業代ゼロ」ねらう安倍「働き方改革」は廃案に！ 長時間労働の解消、働くルールの確立を！

安倍内閣は、広範な団体・市民と野党の反対を押し切り、4月6日に「働き方改革一括法案」を閣議決定し、4月27日には衆議院で審議入りを強行、今国会で成立させようとしています。

この法案に関わって安倍首相は国会で、「裁量労働制の方が労働時間が短いというデータもある」と答弁しましたが、データそのものがねつ造だったことが発覚し、その部分を削除しての提案となりました。しかし法案は、裁量労働制と同じく定額・働かせ放題、過労死促進の「高度プロフェッショナル制度」の創設や、「月100時間」という過労死ライン容認の残業時間規制、賃金格差追認で名ばかりの「同一労働同一賃金」、労働者保護法が適用されない「非雇用型就労」の普及など、「改革」どころか労働法制を大改悪するものに他なりません。このような法案は、断じて容認できません。

ねつ造、改ざん、隠ぺいの安倍政権に国民の怒りは沸騰し、それを受けて国会内では野党共闘が発展しています。民主主義の原則を踏みにじる政府を世論と運動で包囲し、「残業代ゼロ」をねらう安倍「働き方改革」法案を廃案に追い込み、長時間労働の解消、「働くルール」の確立で、真の「働き方改革」を実現しましょう。

以上決議します。

2018年5月19日
府高教第89回定期大会